

平成18年9月定例会会議録（第2号）

平成18年9月6日 水曜日 午前10時00分開議

大 沼 久 議 長 蒲 生 光 男 副議長

出 席 議 員 （19名）

1 番	我 妻	昇	議員	2 番	内 谷	重 治	議員
3 番	大 道 寺	信	議員	4 番	谷 口	栄 子	議員
5 番	佐々木	謙 二	議員	6 番	安 部	隆	議員
7 番	町 田	義 昭	議員	9 番	蒲 生	光 男	議員
10 番	渋 谷	佐 輔	議員	11 番	高 橋	孝 夫	議員
12 番	鈴 木	武 次	議員	13 番	小 関	勝 助	議員
14 番	鈴 木	良 雄	議員	15 番	鈴 木	小 市	議員
16 番	藤 原	民 夫	議員	17 番	蒲 生	吉 夫	議員
19 番	島 田	友 市	議員	20 番	鈴 木	新 助	議員
21 番	大 沼	久	議員				

+

欠 席 議 員 （2名）

8 番 鳥 谷 政 一 議員 18 番 佐々木 榮 七 議員

説 明 の た め 出 席 し た 者

目 黒 栄 樹 市 長	長谷部 宇 一 助 役
佐 藤 義 夫 収 入 役	総務課長兼選挙管
松 本 弘 財 政 課 長	理委員会事務局長
中 井 晃 税 務 課 長	企 画 調 整 課 長
船 山 祐 子 健 康 課 長	小 泉 良 一 市 民 課 長
高 橋 信 夫 会 計 課 長	平 英 一 福 祉 事 務 所 長
飯 田 武 志 監 査 委 員	金 田 寿 一 消 防 主 幹
大 滝 昌 利 教 育 長	田 中 勝 男 教 育 委 員 長
小 関 秀 一 農 業 委 員 会 会 長	安 部 嘉 徳 選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長
齋 藤 理 喜 夫 商 工 観 光 課 長	梅 津 和 士 農 林 課 長
	浅 野 敏 明 建 設 課 長

+

梅 津 敏 昭	管 理 課 長	那 須 宗 一	文化生涯学習課長
遠 藤 正 明	農業委員会事務局長	鈴 木 要一郎	水道事業所長
堀 邦 夫	学校給食共同調理場長	沼 澤 厚 子	監査委員事務局長

事務局職員出席者

佐 藤 仁	議 会 事 務 局 長	児 玉 行 宏	補	佐
五十嵐 恵美子	主 任	塚 田 知 広	主	事

議 事 日 程 (第 2 号)

平成18年9月6日 水曜日 午前10時00分開議

- 日程第 1 市政一般に関する質問
- 2 番 内 谷 重 治 議員
 - 1 7 番 蒲 生 吉 夫 議員
 - 1 1 番 高 橋 孝 夫 議員
 - 4 番 谷 口 栄 子 議員

本日の会議に付した事件

議事日程 (第 2 号) に同じ

+

+

+

開 議

○大沼 久議長 おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、8番、鳥谷政一議員、18番、佐々木榮七議員の2名であります。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、山形新聞社長井支社長からはパソコンの使用について、米沢日報記者からはカメラ使用についての申請があり、それぞれ許可いたしましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第2号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○大沼 久議長 日程第1、市政一般に関する質問を行います。

なお、質問の時間は答弁を含めて60分以内となっておりますので、ご協力をお願いいたします。

内谷重治議員の質問

○大沼 久議長 それでは、順次ご指名いたします。

順位1番、議席番号2番、内谷重治議員。

(2番内谷重治議員登壇)

○2番 内谷重治議員 おはようございます。

私のこのたびの一般質問は、6月定例会に引き続きまして、元気な長井をつくるために、これから長井市はどのような施策をとるべきか、どうすればまだ閉塞感の残るこの現状を脱却し、地域活力を再生することができるのか、目黒市長より次のステップへのビジョンを私ども議会に、そして市民の皆様にご教示いただきたいと思っております。

ここで、通告しております質問項目の副題につきまして、若干ご訂正をお願いしたいと思います。元気な長井をつくるために「第2ステージは守り（緊縮型）から攻め（経営型）へ」としてしておりますが、これを「第2ステージは守り（緊縮型）も攻め（経営型）も」へのご訂正をお願いしたいと思います。

これは、例えば、ことし夏、全国じゅうを暑い夏、熱狂の渦に巻き込んだ全国高校野球夏季大会で、山形県初のベスト8に輝いた日大山形高校野球部の攻守のバランスがとれた野球のようなものというふうに思います。惜しくもあの早稲田実業に敗れはしたものの、長井南中出身の青木優選手の攻守にわたる活躍は、多くの長井市民に感動と勇気を与えてくれたと思えます。

目黒市政2期8年が崩壊状況であった長井市の財政を再建し、失いかけた地域活力、市民活力を再生の方向に導いたことに、多くの市民は心から感謝し、全国でもトップクラスの行財政改革により長井を救った長井市中興の市長として、後世まで語り継がれることと思えます。

今、長井市初め地方自治体を取り巻く情勢は、地方分権一括法の施行以降ここ五、六年で以前とは大きく変貌を遂げております。三位一体改革や新合併特例法等の大きな改革のうねりの中で、いよいよ深刻な社会問題となってきた少子高齢化による介護、医療等々の福祉扶助費増大に加え、教育改革や地域コミュニティの崩壊、なかなか地方まで波及してこない景気回復感な

+